

設置趣意書

長野美術専門学校に下記によりオーバル・アーツ学科を設置します。

記

分野課程 文化教養専門課程

学科名称 オーバル・アーツ学科

部 科 通信制

修業年限 2年

1 目的

長野美術専門学校の使命は、全人教育を推進し、「創造性の育み」を人間が人たるための本質的条件と考えています。通信制学科では、時間や場所を超えた柔軟な学びを通じて、全人教育の理念を体現する本校の学びを提供し、進学者が創造性の体得と自己成長を実感できる課程環境を構築します。

2 方針

本校は、経済効率や即時的価値が人間性に優先されがちな現代の風潮に抗し、創造性を取り戻し、生き方や成長につながる学びをとりわけ重視しています。この使命のもと、本校は「これから時代にふさわしい学校像」を創る一環として、通信制学科「オーバル・アーツ学科」の設置を位置づけています。

通信制学科は、広く長野県内にとどまらない、地理的に離れた進学者や、登校が困難なため本校での学びを断念せざるを得なかった人、働く人など、多様な学び手にとって通学の是非に関わらず修学できる魅力的な形態です。

これからの中学校に必要なのは、知識を一方的に与える“場所”ではなく、一人ひとりが自己と向き合い、他者と関わる“環境”です。こうした環境は、オンラインでの共同制作を通じて他者と学び合い、その成果を分かち合うことを可能にし、自らの地域を学修資源として活かすことにもつながります。

通信制の柔軟性は、単なる通学代替ではなく、地理的・時間的制約を超えて、自宅やオンラインでの学修を可能にし、固定的な時間割や場所に縛られない学びを実現します。これにより、関心や

進度、生活リズムに応じた学びの組み立てが可能となり、孤立せずに学修を継続できるため、学び直しや再出発の選択肢も広がります。こうした従来の制度では困難であった仕組みも、通信制の導入により初めて持続的かつ実効性のある形で確立されます。オーバル・アーツ学科は、学生が新しい時代にふさわしい自己を追求し、未来を切り拓く“学びと育ち”を支援する学科です。

3 方 策

(1) 学びの柔軟性と個別最適化の実現

通信制により今までの授業方法を拡幅し、本校では、関係性・時間・教材・支援体制を柔軟に再設計します。これにより、多様な背景を持つ学生が自律的に学び続けられる仕組みを整え、専門性の習得をはじめとした創造性教育を通じて自己肯定感と主体性を育みます。

学生一人ひとりの日常生活や関心に根ざした学習の展開ながらも、オンラインや対面での協働を通じ孤立することなく「学びのコミュニティ」として発展していきます。

【オーバル・アーツ学科の特徴】

ハイブリッド型教育

オンラインによる講座や教材を用いた自己学習と、スクーリングでの授業を組み合わせ、通信制でありながら、週1日程度の登校を基本的な目安とし、さらに恒常に通学が困難な学生には、短期集中型の集中講座により、遠隔地であっても専修学校専門課程の修学に適う体制を整備しながら、通学履修も可能とする履修環境を提供する。

学修の自由度と個別最適化

現行学科でも実現して来た、専門領域を横断した多様な選択肢の学びにさらなる自由度を加え、他分野を横断し、総合的に職能を発揮できるクリエイターを育成する。

通信制の柔軟性を活かし、面接授業だけに限らない、動画教材による非同期学習やWeb通信による個別接続などを通じて、学生一人ひとりのペースや関心に即した学修を実現する。

これらの学修記録（ログ）はラーニングマネジメントシステム等により管理し、各授業の目標達成状況や成績評価を確認する「修学アセスメント」として活用する。

また、基本的に本校の修学期である「基礎履修期 → ゼミ期 → 総合制作期」という学修体系を年間の学びのステップの指針とし、コミュニケーション力・表現力・協働力を体系的に高めながら、専門性と創造性を統合的に育成する。授業方法を拡充しつつ、教育の質を確保する。

共同学習

オンラインでの共同制作やフィードバックを通じて、ICT活用力・地域課題への関与・相互啓

発を促進する。チャットシステムや共同編集型の学修記録ツールなどを活用したオンライン学習コミュニティにおいて、他者と協働し、継続的に相互フィードバックを行うことで、学修における刺激と目的意識を醸成し、学習者の孤立を防ぐ。

【具体策】

- ・ チャットシステムを含めた教員との常態的な個別接続とサポート体制の整備
- ・ オンラインポートフォリオによる学修成果の蓄積と振り返りをはじめとした学習進捗を共有するフィードバック型授業
- ・ 学修記録（ログ）や課題提出状況の把握による進捗管理による成績評価の適正化

これらにより、創造性教育の本質や公平な学習評価を損なうことなく、個別最適化された学びと成長を支えることが可能になります。

（2）地域とつながる学びの構築

通信制の特性を活かし、学びを「個人」にとどめず「地域社会」へと広げます。学生が暮らす生活圏を学修の資源として位置づけ、地域課題や文化資源を題材に創造的実践と社会的関与の機会を提供します。

長野県内の学生にとっても、地元に暮らしながら芸術・デザインの専門教育を受けられることが大きな意義です。自然や伝統文化、地域産業を学びの題材として探究し、同時に他地域の学生との交流を通じて、多様な視点から比較・発展できる学びを実現します。

【通信制による改善】

地域接続型教育

面接授業だけによらない柔軟な方法で、各々の学生が、興味・関心に即し、自身の生活圏を学びに取り込み、地域資源や課題を創造的実践の題材とする。

広域的協働

共創型科目「コレクティブ・アーツゼミ」等により、地域課題を基盤に他地域の学生とオンラインで比較・発展し、共同制作や相互評価を行う。

県内進学機会の保障

特に県内進学者に対しては、長野県発の通信学科として、都市部の通信制大学や専門学校に進学せずとも、県内で専門教育を受けられる環境を整備する。

(3) 学科の持続に繋がる有意性

県内通信制高等学校からの進学者の観点

近年、長野県下の通信制高等学校の学校数および生徒数は増加傾向にあり、令和4年度から令和6年度にかけては、毎年約1,200名の生徒増が見られます。こうした状況の中、本校では現在、県内の通信制高等学校25校と継続的な接点を持っており、令和6年度には、資料請求やオープンキャンパスへの参加などを通じて、本校への進学を検討した生徒は111名でした。そのうち入学につながった数は7名でした。ここから104名の内に通信設置の場合の入学見込み者を含んでいると分析しています。

県外高等学校からの入学見込の観点

令和6年度に県外からの資料請求やオープンキャンパス参加した生徒は340名で、内2名が入学につながりました。ここからは338名の内に入学見込み者を含んでいると分析しています。また、その数は本校への関心は年々増加しており、令和4年度：273名、令和5年度：296名と増加傾向を増しています。

通信制新設により生じる新たな進学者層の観点

あわせて、本校では通信制学科の設置によって新たに発生する進学者層にも注目しています。これまで制度上、本校を選択肢とし得なかった層が、通信制の設置を契機に進学を検討できるようになり、上記2つの観点に加わるものと判断しています。

以上

別表6

授業科目等の概要

文化教養専門課程(通信制) オーバル・アーツ学科 令和8年度													
分類			授業科目名	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法				教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	対応資格、その他備考	オンライン教材(動画含む)	対面授業(通学授業を含む)	
○			クリエイティブワーク総論OLA	1・前後	32	2	○	△			○	○	○
○			クリエイティブワーク総論OLB	2・前後	32	2	○	△			○	○	○
○			色彩OL	1・前	16	1	○	△		色彩士検定	○	△	○
	○	マーケティングOL	1,2・前	16	1	○	△				○		○
	○	DTP理論OL	2・前後	32	2	○	△		Illustratorクリエイター能力 Photoshopクリエイター能力認定試験	○	△	○	
	○	アート研究OL	1,2・後	16	1	○	△		美術検定	○	△	○	
	○	映像理論OLA	1・前	16	1	○	△			○		○	
	○	映像理論OLB	2・前後	32	2	○	△			○		○	
	○	WEB理論OL	1,2・前後	16	1	○	△			○		○	
	○	デザイン研究OL	1,2・前後	16	1	○	△			○	○	○	
	○	ブランドマネージメントOL	2・前	16	1	○	△		ブランド・マネージャー検定	○	△	○	
	○	美術学理論OL	1,2・前	16	1	○	△			○		○	
	○	映像制作入門OL	1,2・後	16	1	○	○			○	△	○	
	○	映像表現OL	2・前後	16	1	○	○			○		○	
	○	マンガ概論OL	1,2・前	16	1	○	○			○		○	
	○	WEB表現OL	1,2・後	16	1	○	○			○	△	○	
○		ベーシック・アーツA	1・前	120	4		○			○	○	○	
○		ベーシック・アーツB	2・前	120	4		○			○	○	○	
○		パーソナル・アーツゼミA	1・後	210	7		○			○	○	○	
○		パーソナル・アーツゼミB	2・後	210	7		○			○	○	○	
○		コレクティブ・アーツゼミA	1・後	210	7		○			○	○	○	
○		コレクティブ・アーツゼミB	2・後	210	7		○			○	○	○	
	○	自由実践OLA	1・前後	30	1		○			○	△	○	
	○	自由実践OLB	1・前後	30	1		○			○	△	○	
○		グラフィックデザイン基礎OLA	1・前	30	1		○			○	○	○	
○		グラフィックデザイン基礎OLB	1・前	30	1		○			○	○	○	
○		グラフィックデザイン基礎OLC	1・後	60	2		○			○		○	
○		ビジュアル表現OL	1・前	30	1		○			○		○	
	○	タイポグラフィOL1	1,2・前	30	1		○	レタリング検定		○	△	○	
	○	タイポグラフィOL2	1,2・前	30	1		○			○		○	
	○	グラフィックデザインOL	2・前	60	2		○			○		○	
○		描写OL入門	1・前	30	1		○			○	△	○	
○		描写OL1	1・前	30	1		○			○	△	○	
	○	描写OL2	1,2・後	30	1		○			○	△	○	
	○	描画表現OLA	2・前後	60	2		○			○	△	○	
	○	描画表現OLB	2・前後	30	1		○			○	△	○	
○		ミューズ・アーツ1	1・後	300	10		○			○	○	○	
○		ミューズ・アーツ2	2・後	330	11		○			○	○	○	
	○	プロモーションワークA	1・後	120	4		○			○	○	○	
	○	プロモーションワークB	2・後	120	4		○			○	○	○	
	○	プロモーション講座A	1・後	90	3		○			○		○	
	○	プロモーション講座B	2・後	90	3		○			○		○	
卒業要件				1,700単位時間(62単位)※内対面授業120単位時間以上									

注1) 選択必修項目にある「条」については、条件付き選択必修の意味である。詳細はシラバス等別紙に記す。

注2) 科目名数字 同科目名に1、2などの数字が付いた科目は、段階的な一連の内容となるため1を修得せずに2を履修することはできない。

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
2年以上の在籍期間。 本校の履修規定に従って履修登録をし、1,700単位時間及び62単位を修得したものに対し、校長が卒業認定する。		1学年の学期区分	
		1学期の授業期間	